

南山城水害から約70年 ～過去の史実を今に活かす取組みを～

大雨や台風が心配される季節となりました。幸い宇治田原町では、近年、大きな災害は発生していませんが、昭和28年(1953年)8月には未曾有の惨事となった南山城水害が発生し、大きな被害をもたらしました。今年で67年となります。今一度、過去の災害に目を向け、これからの防災対策について考えてみましょう。

【南山城水害・当時の惨状】

昭和28年(1953年)8月14日、夕方から降り始めた雨は夜にはますます激しくなり、午後9時頃には雷鳴も轟き、夜半の12時頃には風雨は更にその激しさを増し、雨音をかき消すような落雷の轟音は、人々を不安と恐怖に陥れました。

中心部を流れる犬打川・田原川も雨量とともに水かさを増し、道路は濁流の通り道となり交通はまったく不可能。

翌8月15日午前3時30分、犬打川上流のため池が決壊。続いて東谷新池、平の谷池等が次々に決壊。巻き起こされたすさまじい山津波は、川沿いの民家を容赦なく飲み込んでいきました。また、宇治田原村でも、禅定寺川、糠塚川等が決壊。奥山田地区では山崩れで一家8人が生き埋めになるなど、各所で大きな傷跡を残しました。

皆さん、下の写真をご存じですか？

南山城水害等の過去の災害に目を向け、これからの防災対策について考える一助としてほしいとの思いから、防災士の方よりメッセージをお寄せいただきましたので、ご紹介します。



南山城水害記念碑(旧役場西側の荒木橋・本町橋に建っています)

要不可欠だと思います。

防災資料展を通して過去の被災状況等を知ること、これからの未来に向けての防災のあり方を見つめることはとても大切なことです。町防災マップ等を確認、具体的な災害対策への課題(日々の備えや地域での高齢者サポート等)を考え、人命と財産を守り、被害を最小限にとどめるための災害への警戒や被害の軽減等について防災資料展を通して考えてみませんか？

防災資料展の期間や防災の日(9月1日)には、ぜひとも会場や「南山城水害記念碑」にお越しいただき、史実に触れていただきたいと思っています。南山城水害記念碑のかたわらに建つ「水害記念碑之記」は、水害より3年後の昭和31年8月15日の日付になっており、水害を克服した偉業を後世に残すために建てられたことが記されています。人との結びつき・土地との結びつきを大切にして築いてこられた歴史と防災について、今一度、考える機会にさせていただきたいと心から願っています。』

失われた人命と行方不明者

	死亡者(人)			行方不明者(人)		
	男	女	計	男	女	計
田原村	3	4	7	0	1	1
宇治田原村	9	8	17	0	1	1
計	12	12	24	0	2	2

住宅の被害

(単位:戸)

	全壊	流出	半壊	浸水	計
田原村	45	4	37	597	683
宇治田原村	25	-	63	629	717
計	70	4	100	1,226	1,400

『近年、国内外を問わず大きな災害に見舞われることが多くなりました。「令和2年7月豪雨」も記憶に新しい災害のひとつです。災害発生時の対応には、救助活動・救援物資の支給・避難所の開設等といった国や地方公共団体の任務である「公助」、災害対策の基本である自分の命は自分で守る「自助」、地域で防災力を高め協力する「共助」があり、また、災害発生後にはボランティア(個人・団体)の力も欠かせません。

しかし、今年、大流行している新型コロナウイルスの影響で活動するボランティアは限られており、支援の手は充分ではないと思われる。そこで!ご近所が声をかけあう「近助」の精神は重



(昨年度の防災資料展の様子)

◎本年度の防災資料展

展示期間:8月28日(金)~9月3日(木) 会場:総合文化センター2階ロビー(ギャラリー)

台風シーズンに備えて

地震と異なり、台風や大雨は襲来するタイミングや危険を事前を知ることができます。

最新情報の入手と早目の避難が重要です。いざという時のために、日頃から備えておきましょう。



【最新の情報入手】

被災しないためには、防災情報のこまめなチェックがポイントです。町では、次のツールで防災情報を配信しています。

▼安心・安全メール

京都府や町から、気象や防災情報等を配信している「京都府防災・防犯情報メール」に登録しましょう。登録は anzen@k-anshin.pref.kyoto.jp に空メールを送信。



▼緊急速報メール

町からの避難勧告等の緊急情報を携帯電話にメール配信します。（発信時に町内にいる方に配信※登録不要）

▼防災アプリ

「@InfoCanal」をインストールすると、防災用長距離スピーカーで放送する緊急情報等がスマートフォンでも受信できます。インストールや設定の手順は、町HPに掲載しています。



iPhone
(App Store)



Android
(Playストア)



▼防災用長距離スピーカー

緊急情報をスピーカーで放送するときは、サイレン音（ウー・ウー・ウー）の後にアナウンスを行いますので、大雨等で内容が聞こえにくいときは、サイレン音が聞こえたら窓を開けるなど、情報の入手に努めてください。



【避難に当たっての注意事項】

①避難所での感染を防ぐためには

- ・避難所では、新型コロナウイルス感染症等の集団感染のおそれがあります。高齢者や基礎疾患のある方など、重症化しやすい方はあらかじめ避難の必要性を考え、可能な場合は親戚や友人宅へ避難する「分散避難」も検討しましょう。
- ・避難所では安全確保のため、避難者全員の体温や健康状態をチェックし、体育館アリーナなど避難者同士の間隔が確保できる広いスペースでとなります。また、避難所での会話は他の避難者と距離をとって必要最小限にとどめるなど、ご協力をお願いします。なお、発熱やせきなど体調不良の方には、専用スペースに避難をしていただきますので、ご理解をお願いします。

②必要な物は自分で用意を

- ・避難中の感染拡大防止のため、避難所へ避難するときには他の人との共用を避けることを念頭に、次の物品を持参しましょう。また、ハンディファン等の季節にあわせた持ち物も準備しておきましょう。

◎全員準備するもの

- マスク 室内履き（スリッパ等） 消毒液 毛布
- タオル（複数枚） 食料 等

◎必要に応じて準備するもの

- 普段服用している薬・お薬手帳 等



【非常持ち出し品を用意しましょう】

非常時に備えて、持ち出し品を用意しておきましょう。また、食料品や水は定期的に交換しましょう。

◎非常持ち出し品（※リュックサックなど背負えるものに入れておきましょう。）

- 懐中電灯・予備乾電池 非常食 飲料水 貴重品 タオル 衣類・下着類
- 救急セット 携帯ラジオ・予備乾電池 ロープ ローソク・マッチ・ライター